

電気コードからの火災にご注意下さい！

箕面市内の住宅で、火災にはなりませんでしたが、電気コードから発火する事案が発生しました。

今回の原因は、電気コードを長年束ねた状態にされていたことによって経年劣化していたことと、束ねた状態で使用したことによって発熱し配線間で短絡（ショート）を起こしたものです。

電気機器を収納する際に電気コードを束ねたり、折り曲げた状態で長年放置すると劣化することがあります。

また、電気コードの劣化がなくても束ねた状態で使用していると発熱し発火することがあります。

〈電気コードからの発火事例〉



火災予防対策

- ・ 電気機器を収納する際は、電気コードを折り曲げたり傷つけたりしないようにしましょう。
- ・ 電気コードを束ねた状態での使用はやめましょう。
- ・ 長年使用していなかった電気機器を使用するときは電気コードが傷んでいないか確認しましょう。
- ・ 電気コードが傷んでいたら使用するのはやめましょう。

**電気コードを正しく使用し
火災を防ぎましょう！！**